

広島発・復興の原点と人材育成

Origin of Recovery and Human Resource Development in HIROSHIMA

報告1：「復興の原点としての路面電車～被爆を乗り越えて」

加藤 一孝（広島市こども文化科学館 前館長）

KATO Kazutaka (Former Director, Hiroshima Children's Museum)

報告2：「復興・社会開発と広島発の人材育成」

橋本 康男（広島県地域政策局 国際部長）

HASHIMOTO Yasuo (Chief of International Affairs, Regional Policy Bureau, Hiroshima Prefecture)

2012年10月4日（木） 16:00 - 18:30

場 所：広島大学大学院国際協力研究科 大会議室（東広島キャンパス）

Date: Thu., Oct. 4, 2012 16:00 - 18:30

Venue: Large Conference Room, IDEC, Hiroshima University

原爆投下後、広島市内の交通インフラ復旧をめぐり、どのような努力がなされたのか。また、その当時に振り返りつつ、いま現在における広島発のオリジナリティあふれる人材育成をどのように構想していくべきなのか。今回のHiPeCセミナーでは、上記二点について、「広島発」という共通の基盤に立つ二人の経験豊富な論者を迎え、「社会復興の原点」とそれに基づく「人材育成」という2つの相前後するプロセスをひとつの射程において議論する場を設ける。

使用言語：日本語 / Language: Japanese

司会：吉田 修（広島大学大学院

国際協力研究科 教授）

お問い合わせ：HiPeC事務局

TEL&FAX：082-424-6936

E-mail: hipec@hiroshima-u.ac.jp

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hipec/>

主催：広島大学平和構築連携融合事業

連携パートナー：独立行政法人国際協力機構

日本貿易振興機構アジア経済研究所

国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所

広島県

* 事前のお申し込みは不要です。

